

# とみしの里

三次市立 吉舎小学校  
発行 校長 大濱 磨彦

学校教育目標「自ら学び、考え、自立した行動ができる『きさ』の子どもの育成」  
～真剣（主体的な学び・深い学び）に学び、人を大切にする児童の育成～

## 元気になわとび！みんなでジャンプ！



三寒四温で春に向けて、寒い日と暖かい日が交互にやってきています。地域の皆様、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

吉舎っ子たちは、寒さに負けず元気に学習したり、外で遊んだりしています。

1月は、生活委員会が「体力づくりのため、クラスの団結のため」提案したなわとびを、各学年で頑張っています。練習していて引っかかっても、「ドンマイ!」「大丈夫!」と温かい声掛けをしながら取り組む姿が印象的です。

5年生のなわとびについての日記を紹介します！

### なわとび

五年 大田彪人

今日、体育の時間に大縄をしました。前回は一六〇回まで跳んだので一七〇回が目標でした。

一回目は最初だったので、一五〇回くらいでした。やっていくうちに体が温まってきて、みんなの声もでてきたけれど、二回目は一二三回でした。三回目は、さらに集中することを意識して跳びました。跳ぶときに大切なことはチームの団結です。

「一、二、三・・・」

最後は、みんな声を出して跳びました。そして、終わりの合図がなったときになんと一七〇回でした。これまでの新記録です。うれしさがこみ上げてきました。

次は一八〇回を目指してがんばりたいです。

# 1人に1台のタブレットが届きました！



吉舎小学校にも114台のタブレットが届きました。コロナ禍の中で、学校休業に備え、リモート学習ができるようにと予算が付いたものです。全国の学校に届きます。低学年の児童も使えるように柔らかいケース入りで持ち運びにも便利です。

1人に1台のタブレットです。スマホに親しんでいるので、子どもたちはすぐ使えるようになると思います。インター

ネットでの調べ学習や、様々な動画も見られます。日本各地や世界の国々の人とも交流ができるかも知れません。「タブレットドリル」といって、一人一人の進度に応じたドリル等も用意されています。

2月中には工事等が終わり、3月からは実際に活用します。もちろんコロナ禍による学校休業でなくても、これを有意義に活用していきたいと考えています。

学校教育は現在、大きな転換点を迎えているのかもしれませんが、「学びの変革」ということで、新学習指導要領で主体的・対話的で深い学びの授業づくりが求められています。一人一人の子どもに応じた個別最適な学びがさらに要求されると思います。学校に来なくても、在宅での学習も可能になると思います。しかし、昨年での休業中での体験でも在宅だけでのリモート学習では限界があることも明らかになったと感じています。

子どもたちが集まって学習したり、生活したりするなかでの学び合い、体験が貴重であることを再認識しました。全校児童と保護者の皆さんで行った吉舎小スポーツフェスタも、やっぱりライブで行う中でしか、味わえない体験だと思っています。

一人一人の興味・関心、個に応じた学習も、「できた・わかった」と味わえる大切な学びです。教室や学校の中で関わり合い、つながって学び合うことも大切だと改めて感じました。コロナ禍の中で本質的なことが見えやすくなるということも聞きますが、教育の本質をしっかりと見極めて、「学びの変革」をすすめたいと考えます。

## 社会科師範授業！

## 知識・記憶ベースから思考力・判断力・表現力の育成へ！新しい高校入試への対応も視野

今年度の本校の研究教科は道徳科ですが、教務・研究部を中心にももちろん他の教科の授業力向上にも取り組んでいます。職員同士で授業を見合って、自分の授業力アップを目指しています。

本校6学年担任の森永教諭の専門は社会科です。様々な研究会での授業提案やこれまでの実践を通して高い力量を持っています。日々の社会科授業も多くの資料を準備して、実践をしています。そこで今回は師範授業を行い、他職員で学ぼうと26日（水）に実施しま

した。まずペアでの2分間の対話による前時の学習の振り返りから始まりました。この時間は、明治時代の歴史学習で、日本が不平等条約を欧米と結ばされていて、日清・日露戦争、韓国併合について学習した後を受けての授業でした。

この授業の学習課題として、「不平等条約の改正に向け、日清・日露戦争を行った。日本の取った方法について自分の考えをまとめよう。」が提示され、「賛成か、反対か、その理由は？」と児童に問いかけます。「これから配る資料から判断してください。」と8種類の資料が配られました。様々な資料から自分の考えに必要な情報を読み取り、自分の考えをワークシートにまとめていました。

(8種類のうちの4つの資料です↓)

③ 2つの戦争で日本が得た物

- ◆日清戦争
  - ・清が、朝鮮から手を引く。
  - ・清は、リャオトン半島、台湾などを日本にゆずる。
  - ・清は、日本に賠償金を支払う。
- ◆日露戦争
  - ・ロシアは、朝鮮での日本の利益を認める。
  - ・ロシアは、樺太の南半分、リャオトン半島、南満州鉄道を日本にゆずる。
  - ・カムチャツカ半島沿岸での日本の漁業権を認める。

④ 日露戦争に日本が勝利したことに対する、世界の国々の反応

- 「中国やロシアに対する日本の勝利は、欧米諸国に日本の力を認めさせ、欧米の支配に苦しむアジアの国々を勇気づけました。」(社会科教科書 P121L10~)
- ◆中国の指導者 孫文のことは  
「これはアジア人の欧州人(ヨーロッパ人)に対する最初の勝利であった。全アジアに影響を及ぼし、全アジアの民族は歓喜(大喜び)し、大きな希望を抱くに至った。」
- ◆インドの指導者 ビハリ・ボースのことは  
「東洋(アジア)は、この勝利によって目覚めた。トルコをはじめ、フィリピンまでも東アジア民族が立ち上がろうと希望をもったことは、歴史の事実だ。」
- ◆ビルマ(現在のミャンマー) パーモウ首相のことは  
「アジアの目覚めは日本のロシアに対する勝利に始まり、全ての植けられた(植民地にされた)民族に新しい夢を与える歴史的な礎(いし)を築いた。」
- ◆フィンランド カール・マンネルハイム大統領のことは  
「小国フィンランドといえども、国民が一致団結すれば(大)国ロシアにも勝ると

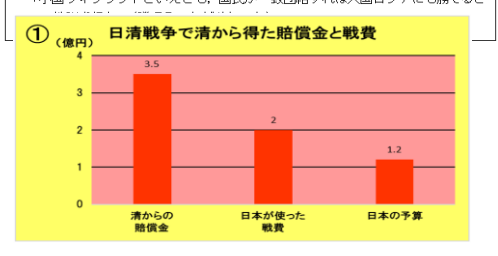
⑦戦争に反対する気持ちを表した詩 ↓(今の言葉に訳したもの)

君死にたまふことなかれ

あゝをとつとよ、  
君を泣く、  
君死にたまふことなかれ、  
末に生れし君なれば  
親のなさはまさりしも、  
親は刃をにぎらせて  
人を殺せとしへしや、  
人を殺して死ねよとて  
二十四までをそだてしや。

与謝野晶子  
戦争への反対  
与謝野晶子は、戦場の弟を思う詩を発表して、戦争に反対する気持ちを表しました。

ああ弟よ、あなたのために泣いています。  
弟よ、死なないうで下さい。  
末っ子に生まれたあなただから  
親の愛情は(他の兄弟よりも)たくさん受けただろうけど  
親は刃物を握らせて  
人を殺せと(あなたに)教えましたか？(そんなはずないでしょう。)  
人を殺して自分も死ぬといって  
(あなたを)24歳まで育てたのでしょうか？(そんなはずないでしょう。)



子どもたちは、自分なりの考えをノートに集中して書いていました。ノートを見て回ると、それぞれの児童がその子なりの考えを書いていました。授業中で一番長い時間が使われていました。その後、賛成、反対の立場の児童が自分の意見を発表し合い、「戦争以外にどんな方法があったらいい？」と問うと、「戦争以外の例えば医学とか、他の分野で力を示し、条約改正につながる方がいい。」とか「戦争以外の方法で、粘り強く交渉をしたほうがいい。」等の答えが児童から出されました。最後に「今の日本は戦争が無くて、この時代と違うよね。どうして？」との今後の学習につながる問いかけもありました。学習後の振り返りでは、「最初は賛成の意見だったけど、『戦争すること自体がダメだ』という意見に共感できました。日清・日露戦争でいろんな物を得たけれど、1番は人の命だなど思いました。」等、友だちの意見を聞いて考えを深めたことが分かるノートの記述が多くありました。

私自身の受けた社会科授業を思いだしてみると、教科書を読み、知識理解、暗記中心の授業だったように感じます。本日の6年生の社会科授業は、児童の資料を読み取る読解力、思考力や判断力、そして表現力をしっかり伸ばし、主体的・対話的で深い学びになっていると感じました。森永教諭の熱心な教材研究と資料等の丁寧な準備等の日々があるからこそその授業と感じました。

今の6年生が高校入試を受けるときは、自己を認識する力、自分の人生を選択する力、自分を表現する力が求められ、それを5分間の自己アピールすることになります。そこにしっかり対応していくことにもつながる授業と思います。今後も職員同士での授業研究を行っていく予定です。

## がんばる吉舎っ子

### 第19回サングリーン書道展

#### 優秀賞

- 3年 梅野 愛子 さん
- 4年 武田 昴優 さん
- 4年 田中 鈴葵 さん
- 5年 才田 亜美 さん
- 6年 井上 紗弥 さん
- 6年 平岡 遊々 さん

今回も中国新聞に掲載された俳句を紹介します。

クリスマス ときどきいっぱい  
ねむれない  
3年 大倉 悠惺さん

お正月 おせちを食べて いい年を  
4年 峠峠 来音さん

寒い冬 雪かぜふくなか 朝がきた  
4年 平岡 蒼々さん

### 第26回河内カップ3位トーナメント

第3位 吉舎少年野球クラブ  
FC吉舎スポーツ少年団

### 「きさ」保小中高一貫教育だより

小中一貫教育合同研修会が1月27日(水)に行われました。吉舎中学校区で共通して研究している道徳科の授業です。今回は八幡小学校の5・6年生学級で行われました。

私立日影館を創立された館祖「奥愛次郎先生」を題材にした自主教材による道徳科授業です。ふるさと吉舎に対する愛着や誇りにつながる学習だと思います。吉舎中や吉舎小でも学習する予定です。

## 2月の行事予定

日	曜	内 容
1	月	安全点検 委員会
2	火	入学説明会
3	水	
4	木	吉舎中入学保護者説明会 (よっしゃ吉舎) 14:00~
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	授業参観
10	水	りんくさん 授業参観
11	木	建国記念の日
12	金	ALT 漢字能力検定 16:00~
13	土	吉舎中立志式
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	りんくさん 学校評議員懇談会・学校関係者評価委員会
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	クラブ 給食費 口座振替日
23	火	天皇誕生日
24	水	りんくさん
25	木	SC(スクールカウンセラー) 来校
26	金	人権の花感謝状贈呈式
27	土	
28	日	

## 3月の主な行事予定

**3月20日(土) 春分の日**  
**3月23日(火) 第46回卒業証書授与式**  
**3月25日(木) 修了式 離任式**